

平成 24 年 5 月 29 日

幕別町議会議長 古川 稔 様

幕別町議会議員 小島 智恵



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1. 大雨や融雪に伴う 防水対策や被害等 について。	<p>今年春から爆弾低気圧が発達するなど激しい気象変動が全国各地でみられたが、温暖化が進行することによって、このような異常気象の数が増加し、強さも増す可能性が指摘されている。そうした中であって、気象庁は大型連休の後半がスタートした5月3日～4日にかけて、東北と北海道の太平洋側を中心に大雨と融雪が一気に進む恐れがあるとして、土砂災害や河川の増水・冠水などに警戒するよう呼び掛けた。結局、多くの地点で5月の観測史上最も多い降水量を記録し大きな被害をもたらした。また、5月13日には、増水した途別川で遊んでいた町内の5歳児が亡くなるという痛ましい水難事故も発生している。今回の気象変動による災害を一過性の局所的な天災とみず、被害を最小限に食い止め、警戒心を忘れないための機会にするためにも防災（水害）対策の在り方について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) この5月の大雨（融雪）、増水による町内の被害状況は・・・。(2) 糠内地区糠内川付近の住民は水害・浸水の恐怖感を覚えたとお聞きしているが、その状況と対応は・・・。(3) 低地である札内南地区の途別川沿いは過去に浸水被害が発生したと承知をしている。その後の防災対策や危機管理の整備状況について・・・。(4) 大雨の影響で河川敷パークゴルフ場（サーモンコース）が水没し利用者に不便をかけている。再開の目途や被害額、今後の管理の在り方などについて・・・。(5) 今回の水難事故に対する事故原因の分析、今後の安全対策、危険箇所の確認と家庭や教育現場での指導など、事故の未然防止に向けた取り組みは・・・。

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>2. 原発の再稼働と夏の節電対策や代替エネルギーについて。</p>	<p>日本の電力供給の3割を占めていた原発は、泊原発3号機が定期検査に入り、国内の原発50基すべての運転が止まった。政府は、すべての原発が稼働しないことを前提に、この夏の電力供給対策を決めた。その内容は、沖縄県を除く全国で節電を求めるというものである。具体的には、今夏の道内における節電目標値を2010年比7%とした。更に、需給が厳しい関西・四国・九州・北海道4社には「計画停電」も準備するというものである。</p> <p>電力不足は、国民生活や経済活動に様々な制約をもたらす。そうした状況を避けようと、なりふり構わず原発再稼働にこだわり、後手に回った政府の責任は重いものと思われる。ともあれ、この夏の電力不足は、再生可能エネルギーなどの代替電源を増強し、代替エネルギーへの転換・普及に向けて、官民が本腰を入れてエネルギー革命に取り組み、将来のエネルギー問題を解決していく必要がある。以下、何点かお伺いする。</p> <p>(1) 節電対策と住民への啓蒙、大規模停電時の対応策について……。</p> <p>(2) 泊原発の再稼働や廃炉に対する所見を……。</p> <p>(3) 再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度が7月から導入されるが、太陽光発電の企業進出（誘致）と個人設置の進捗状況は……。</p>